

# コートジボワール

# Republic of Cote d'Ivoire

	2010年	2011年	2012年
①人口: 2,320万人(2012年)			
②面積: 32万 2,462 km <sup>2</sup>			
③1人当たり GDP: 1,054米ドル (2012年)			
④実質 GDP 成長率(%)	2.4	△ 4.7	9.8
⑤消費者物価上昇率(%)	1.8	4.9	1.3
⑥貿易収支(100万 CFA フラン)	1,781,600	2,771,200	1,726,000
⑦経常収支(100万 CFA フラン)	230,200	1,164,900	△ 280,200
⑧外貨準備高(100万米ドル, 期末値)	3,624	4,316	3,928
⑨対外債務残高(グロス)(100万 CFA フラン, 期末値)	5,481,100	6,264,200	3,862,400
⑩為替レート(1米ドルにつき, CFA フラン, 期中平均)	495.28	471.87	510.53

【注】⑥⑦の2011年, および③~⑩2012年の数値は暫定値。

【出所】①: 国立統計院, ②④⑤⑨: 経済財政省, ③⑧⑩: IMF (IFS), ⑥⑦: 経済財政省, 西アフリカ諸国中央銀行(国際収支統計)

## ■ 対外債務削減により高成長を記録

2011年4月の内戦収束後, 和平定着の最終段階となる国民議会選挙が同年12月に大きな混乱なく実施され, 政治・社会情勢は安定に向かっている。2012年6月には対外債務の包括的削減が実施され, 公共事業や資源開発への投資が活発化し, それが内需拡大にもつながり成長を後押しした。生産活動はカカオと石油生産の減少で輸出用農産品と鉱業部門が不調だったが, 堅調な内需に支えられ石油精製, エネルギー, 食品加工, 製造業, 建設, 電気通信, 運輸, 商業部門が軒並み好転した。政府は今年3月時点で2012年の実質 GDP 成長率を当初の8.1%から9.8%に上方修正した。

## ■ 輸出入とも原油・石油製品が大幅増加

経済活動の回復を背景に 2012年の貿易は前年比25.2%増の10兆5,253億 CFA フランと過去最大となった。原油高で輸出入とも原油・石油製品が増加し, 貿易総額を押し上げた。主要輸出品目である農産品の国際市況低迷により, 輸出は5兆5,382億 CFA フラン(5.8%増)にとどまった。一方で, 輸入は国内の生産活動の活発化と内需拡大により4兆9,871億 CFA フラン(57.1%増)と大幅に増加し, 貿易黒字は前年比73.2%減の5,512億 CFA フランとなった。

輸出は最大品目のカカオ豆が国際価格の下落と生産減少により金額, 数量ともそれぞれ前年比17.0%, 5.7%

表1 コートジボワール主要経済指標

	(単位: %)		
	2010年	2011年	2012年
実質 GDP 成長率	2.4	△ 4.7	9.8
民間最終消費支出	5.5	△ 4.4	12.8
政府最終消費支出	3.3	△ 8.2	14.1
国内総固定資本形成	3.5	△ 13.7	83.3
財貨・サービスの輸出	△ 1.4	△ 3.7	11.1
財貨・サービスの輸入	3.5	△ 26.7	60.0

【出所】 経済財政省

減少した。カカオ調製品は政府の奨励策を背景に豆の現地加工率が向上し, 数量で12.8%増加したが, 国際市況低迷による価格目減りで, 金額では0.7%減となった。石油製品と原油は油価高騰により, 金額で前年比それぞれ48.4%, 3.5%増加した。数量では, 石油製品が近隣向け輸出の拡大で33.4%増の202万トンとなったが, 原油は油井の技術問題に起因した生産減少が響き9.6%減の159万トンとなった。カシューナッツは, 生産が好調で輸出量が大幅に増加したことから国際市況の低迷による価格目減りを補い金額でも増加した。

輸入は, 石油精製品の輸出拡大を受け原料となる原油(構成比28.2%)が前年比70.1%増加した。次いでコメ, 一般機械, 鉄鋼, 魚介類と続く。生産活動の活発化とそれに伴う在庫補給, 内需拡大を受け, 中間財, 食品, 食品以外の消費財, 資本財のすべての部門で大幅に増加した。

国別では, 輸出は最大のオランダ(構成比8.7%)が, 主要品目のカカオ豆の減少で前年比21.1%減となった。米国, フランス, カナダ向けも, カカオ豆の減少で前年比15~28%の減少となった。一方, 石油製品が増加したナイジェリア, カカオ調製品や天然ゴムが好調だったドイツ, ベルギー, カシューナッツと原油が増加したインド向けは増加した。陸路越境ルートの改善により, ガーナ, ブルキナファソ, セネガルなど周辺諸国へも石油精製品を中心に肥料, 化粧品類, せっけんなどの輸出が増加した。輸入では, 原油調達先であるナイジェリアが最大の相手国だった(構成比25.6%, 72.0%増)。続くフランスは, 薬品と輸送機器を中心に49.5%増加した。品目が多様化する中国(67.5%増), コメが増加したインド(2.3倍), 輸送機器が急増した日本(47.6%増)などアジア諸国の台頭が目立った。

コートジボワールなど15カ国が加盟する西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)とEUは, 経済連携協定(EPA)締

表 2 コートジボワールの主要商品別輸出入

	2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(その他含む)	5,232,208	5,538,244	100.0	5.8
カカオ豆	1,428,858	1,185,542	21.4	△ 17.0
石油製品	654,503	971,065	17.5	48.4
原油	618,452	640,233	11.6	3.5
カカオ調製品	540,385	536,461	9.7	△ 0.7
ゴム	538,921	412,802	7.5	△ 23.4
輸入総額(その他含む)	3,173,948	4,987,064	100.0	57.1
原油	825,924	1,404,571	28.2	70.1
コメ	268,136	349,274	7.0	30.3
一般機械	178,480	339,640	6.8	90.3
鉄鋼	97,557	178,219	3.6	82.7
魚介類	155,531	169,909	3.4	9.2

〔出所〕コートジボワール税関総局

結に向け交渉している。コートジボワールは既に 2007 年 12 月、EU との間で EPA 暫定協定に調印している。しかし 2014 年 10 月までに批准に至らない場合、EU 向け輸出には後発開発途上国(LDC)に適用される特別特惠関税(原則無税)ではなく一般特惠関税が適用されることになる。

### ■ 投資環境の改善で相次ぐ投資

経済財政省と西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO)の国際収支統計によると、2012 年の対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は前年比 83.9%増の 2,267 億 CFA フランとなった。また、コートジボワール投資促進センター(CEPICI)の投資認可ベース統計(国内投資含む)。鉱物資源・石油・ガスの探査と開発、不動産・建設・公共土木事業、金融・銀行・保険サービス部門の案件は含まれない。また商業および輸送については 5 億 CFA フラン以上の案件のみが対象)では、前年比 50 件増の 104 件、66.9%増の 1,926 億 930 万 CFA フランだった。業種別にみると、セメント製造が最大で石油開発関連事業、農産物加工、漁業、ホテル業などが上位を占めた。国・地域別では、国内資本が最大で次いでナイジェリア、モロッコ、シンガポール、レバノンが上位を占めた。

外国企業の動向をみると、復興需要を見越した大型投資が目立つ。農産物加工部門では、中国シノケム・グループによる油ヤシ・天然ゴム生産、カカオ加工、仏ルイ・ドレフュスによるコメ栽培などの大型投資が予定されている。石油・ガス開発部門では、仏トタルが 2013 年 4 月にガーナに隣接する鉱区で新たな油層を発見したほか、操業中の仏フォックストロットが 2015 年までにガス田での生産増強と石油探査に 10 億ドルの投資を行うと発表した。エネルギー部門では米エマージング・キャピタル・パートナーズが今後 2 年間に仏ブイグ・グループが出資するシブレル火力発電所の拡充計画(投資額 3 億ユーロ)を予定している。非石油資源部門では政府が 2013 年 5 月、金、マンガン、鉄などの鉱山 28 鉱区での探査権をオーストラリア、ノ

ルウェー、米国などの企業に認可した。

2012 年 11 月には新投資法が施行され、投資家保護が強化された。また、奨励対象業種が拡大されたほか、投資奨励地区を細分化するなど、地域振興と中小企業の競争力強化、新規参入促進に重点を置き、税等の優遇措置をとっている。

### ■ 対日貿易は輸出入とも大幅に増加

2012 年の対日貿易は、輸出が 49 億 1,124 万 CFA フラン(前年比 3.5 倍)、輸入が 966 億 405 万 CFA フラン(47.6%増)で大幅に増加した。品目別では、輸出はカカオ調製品が金額、数量ともに前年比約 5 倍となり、輸出全体の 9 割を占めた。一方、カカオ豆は金額、数量でそれぞれ 42.6%、24.1%減少し、構成比は 5.2%に縮小した。カカオ調製品の増加は、前年に輸出が落ち込んだ反動から、在庫需要が高まったためとみられる。一方、カカオ豆の減少は、世界最大の生産国であるコートジボワールの 2011 年の政情不安による供給懸念から在庫積み増しの動きが広がったものの、影響が限定的だったことから、2012 年には在庫調整されたためとみられる。

輸入は乗用自動車と貨物自動車を主力とする輸送機器が最大で、セメント用のクリンカー、ディーゼルエンジンやブルドーザーなどの機械類、スラグサンド、タイヤを中心とするゴム製品、圧延亜鉛メッキ鋼板を主とする鉄鋼など、内需拡大を反映して耐久消費財、中間財、資本財が増加した。輸送機器やタイヤは、民間消費の回復で商業活動が活発化し始めたことから、商用車需要を中心に拡大した。クリンカーやスラグサンドの増加は、建設需要の高まりによるものとみられる。

日本企業では、味の素が 2012 年 1 月に現地法人を設立、ヨブゴン工業団地の包装工場を 2013 年 4 月から本格稼働した。コートジボワールを拠点に西アフリカ 11 カ国で調味料を販売する。商社は駐在員事務所の閉鎖や拠点移転で 1 社のみとなったが、情勢が改善し、日本の経済協力案件も再開されたことから、西アフリカの拠点として企業が再進出する下地は固まってきたとみられる。

表 3 コートジボワールの対日主要商品別輸出入

	2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額(その他含む)	1,417	4,911	100.0	246.6
カカオ調製品	902	4,442	90.5	392.5
カカオ豆	441	253	5.2	△ 42.6
輸入総額(その他含む)	65,456	96,604	100.0	47.6
自動車	22,417	34,333	35.5	53.2
車両・部品	12,530	12,749	13.2	1.7
セメント用クリンカー	6,703	12,182	12.6	81.7
機械機器	5,498	10,577	10.9	92.4
スラグサンド	6,419	6,909	7.2	7.6

〔出所〕コートジボワール税関総局